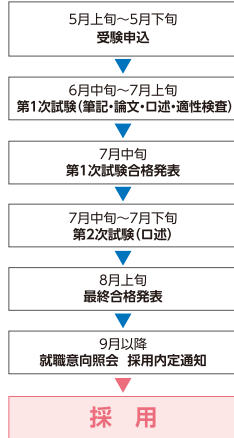


●大学卒業程度試験



採用試験内容

※【 】内は配点。合計700点満点。

●第1次試験

科目	方法等
教養試験【100点】	択一式(47問中40問選択2時間)
専門試験【100点】	択一式(50問中40問選択2時間)
論文試験【100点】	筆記試験
	適性検査

口述試験 教養・専門試験の上位者に対して実施
※論文試験は第1次試験合格者のみ採点を行います。

●第2次試験

科目	方法等
口述試験【300点】	個別面接・集団討論

●高校卒業程度試験



採用試験内容

※【 】内は配点。合計600点満点。

●第1次試験

科目	方法等
教養試験【200点】	択一式(50問2時間)
作文試験【100点】	筆記試験
	適性検査

※作文試験は第1次試験合格者のみ採点を行います。

●第2次試験

科目	方法等
口述試験【300点】	個別面接・集団討論

採用後について

- ◆採用後は滋賀県警察学校に入校します。
- ◆同期生とともに約1ヶ月の研修を受け、その後、警察本部の各所属や県内各警察署等に配属されます。

※受験資格や受験申込受付期間、申込方法など詳細は、それぞれの試験の「受験案内」をご確認ください。
※受験案内は滋賀県警察本部、各警察署、県庁受付、県内各合同庁舎、東京本部等で配布するほか、郵送で請求することもできます。
詳細は県HP内にある「滋賀県職員採用ポータルサイト」のページをご確認ください(大学卒業程度試験は4月下旬頃、高校卒業程度試験は7月上旬頃に配布開始予定)。

(受験案内請求先) 滋賀県人事委員会事務局 〒520-8577 大津市京町4丁目1番1号(県庁東館6階) TEL:077-528-4454

選考考查

滋賀県警察では、受験資格に一定の資格等が必要となる臨床心理士、科学捜査研究所の研究者、少年補導職員、航空整備士、船舶技術者等の試験を行っています。試験は不定期で実施していますので、詳しい試験情報は滋賀県警察ホームページで随時ご確認ください。

各種制度等

●昇任試験制度

警察事務職員にも警察官と同じように昇任試験制度があります。昇任は学歴や年齢に関係なく勤務実績や試験によって決定されます。努力次第で上位職を目指す実力主義で、平等にチャンスが与えられています。基本的な昇任は下記のとおりです。



●給与

	採用時(地域手当を含む)
大学卒	約243,000円
短大卒	約223,000円
高校卒	約209,000円

2025年1月1日現在

給与額はそれぞれ相当学歴の新規卒業者を例にとったもので、卒業後の職歴がある場合や大学院を卒業されている場合には一定の基準に基づいてこの額に加算されます。また、このほかに扶養手当、通勤手当、期末・勤続手当等が支給されます。昇給は原則として毎年1回行われます。

●福利厚生

共済組合	警察官・警察事務職員は、警察共済組合員となり、民間企業の健康保険・厚生年金制度に相当する共済組合制度の対象となります。
健康診断	すべての職員を対象に、年1回の定期健康診断を行います。また、職員本人や家族が人間ドック等を受診した場合の助成制度もあります。
助成制度	物資の給付、貸付制度(一般・医療・住宅など)、見舞金・弔慰金などの給付制度や自己啓発活動に対する助成制度が整っています。
施設利用	リゾート施設をはじめ、レジャー施設やスポーツジムなど、余暇を充実させる多くの施設と割引利用契約をしています。
互助会	給付(結婚・出産・入学などのお祝い金)や助成(レジャー施設などの利用補助)だけでなく、万が一のケガや病気の保険も大変充実しています。

採用試験に関するお問い合わせ

滋賀県警察本部 警務課採用係

TEL.077-522-1231(代)



〒520-8501 滋賀県大津市打出1番10号

JR琵琶湖線大津駅下車 徒歩10分・京阪石山坂本線鳥羽駅下車 徒歩3分

受付時間 / 8:30～17:15(平日のみ)
※土・日・祝日及び年末年始は受付しておりません。

滋賀県警察 採用案内 検索



Facebook



X



Instagram



LINE

この印刷物は古紙/リサイクル紙を使用した再生紙を使用しています。



滋賀県警察事務職員 採用案内 2025

#使命感 #充実感 #警察事務



警察官と力を合わせて、 県民の暮らしを支え守り抜く。

警察事務職員は「行政職」の公務員であり、「公安職」の警察官とは、職務の権限や範囲に違いはありますが、県民の暮らしを支え、守り抜くという同じ目的を持って、警察組織とその活動の基盤を支える重要な業務に従事しています。

●主な仕事内容

会計	警察活動に必要な資機材等の調達事務などの予算執行や施設の維持管理、職員の旅費や給与事務などを担当。予算は、すべて税金(税金)であることから規則に則った厳格で透明性の高い事務処理が要求されます。
拾得物	県民の皆さんから届けられる拾得物、遺失物に関する業務を担当。年間約12万件の拾得物を取り扱い、落とし主にお返しできるような業務に動んでいます。
情報管理	県警察で使用するシステム、PC、ネットワーク機器の構築、整備、運用を担当。警察情報を安全に運用できる環境を整えるとともに、システムの開発等により各種警察活動の改善や効率化にも貢献しています。
施設管理	警察署や交番・駐在所の新築、改修工事などの施設管理を担当。警察官には働きやすく、県民の方々が利用しやすいと喜んでもらえる施設になるように管理をし、警察機能の維持・向上を担います。
許認可	運転免許証の新規交付や更新手続、車庫証明の申請受理、道路使用許可及び通行許可の申請受理など、県民の方々からの申請に対し、親切丁寧に対応するよう心掛けています。
厚生	職員とその家族が充実した人生を送れるよう、保険事業や結婚・出産・疾病時の給付事業、健康診断や健康相談などの健康管理業務を行います。

●身体基準の有無

警察官の採用試験とは異なり、視力や聴力などの身体検査や体力試験はありません。

●勤務時間、休日・休暇など

勤務時間

●8時30分から17時15分まで
(休憩時間を除き、1日実働7時間45分) ※一部の係を除く

休日・休暇等

- 土・日曜日、祝日、年末年始 ※一部の係を除く
- 年次有給休暇(年間20日 ※採用時は採用月より変動あり)
- 特別休暇(夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、看護休暇など)
- 育児休業制度(子どもが3歳になるまで取得可能)

※その他、各状況に応じた妊娠・出産・育児に関する支援が整っています。詳しくは警察官の採用案内をご覧ください。

滋賀県警察事務職員のQ&A

Q | 警察事務職員の魅力とは何ですか？

警察事務の仕事は、警察組織の基盤をつくり、運営を支えることによって、社会に貢献できる仕事です。滋賀県のために、私にもできることがある。それが警察事務の魅力です。

A

Q | 警察事務職員も警察学校へ入校するのですか？

事務職員として採用後、約1ヶ月警察学校に入校し、警察職員として必要な知識や心構えを学びます。主任、係長、課長等昇任時には、それぞれの階級にふさわしい知識・心構えを学ぶため、他府県警察の警察事務職員と一緒に入校します。

A

Q | 配属先を希望することはできますか？

採用後は、本人の適性や能力等を考慮し、警察本部又は警察署に配属されます。その後は毎年、希望する部署や勤務地を申告する制度が整っており、人事異動に生かされます。

A

Q | 事件の捜査に関わることはできますか？

犯人逮捕や交通取締りなど行政職の権限を超えた職務はできませんが、犯罪や事故の統計分析や鑑識、交通規制部門など、捜査に深く関与する部署での活躍は可能です。

A



警務課



警察本部の警務課で職員の「給与」に関する業務を行っています。現在の業務は、地域の安全安心に直接関わるものではありませんが、「給与」という職員の生活基盤に直接関わる業務を通じてやりがいを感じながら、間違いがないよう法令や規則を確認し、期日までに確実に処理をしたり、各所属からの問い合わせに対応したりしています。警察には様々な職種が存在しますが、滋賀県警察の一員として私らしく貢献できる道として、私は警察事務を選びました。警察事務と言っても業務内容は部署によって様々で、新たな部署に配属されれば、新しい仕事と出会い、新たに学ぶことも多くあります。もちろん大変なこともありますが、皆が同じベクトルで各々の業務に取り組み、職種の枠を超えて協力して業務を行いますので、成長を実感できるやりがいのある職種です。 (2016年度採用 主事)



会計課



警察本部の会計課で県内の警察施設の維持管理や警察署等の建替え等を行っており、主に担当している業務は、警察本部庁舎の維持管理と交通安全施設(交通信号機や道路標識、横断歩道等)の新設、改修工事等の契約事務です。直接県民の方々に関わる仕事ではありませんが、県民が安心して暮らせる滋賀県の実現を目指して、日々業務に取り組んでいます。自分が携わった業務で、真っ白な横断歩道を小さな子どもが手を挙げて渡っている姿を見かけると、警察事務を志望するきっかけとなった「滋賀県の人々の力になれる仕事かしたい。」という思いが満たされ、大きなやりがいを感じます。警察事務は、色々な部署があり見聞を広げ、確かなやりがいを感じる職種ですので、皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。 (2021年度採用 主事)



交通企画課



高齢者向けの交通安全教室や高齢者の運転免許証の自主返納に関する業務、交通安全情報の発信等を担当しています。免許証の返納という大きな決断の前に相談されることもあり、その時は相手の状況に寄り添い、中立的な立場で、情報を正確に漏れなく説明することを心がけています。説明を聞いて納得された時には、とてもやりがいを感じます。警察事務の道を選んだ理由は、地元である滋賀県の暮らしを支え、貢献することができる仕事に携わりたかったからです。警察官の仕事に興味を持つ中で警察事務という職種を知り受験しました。今の職場で、自身が成長することで達成感を感じることができ、県民の安全安心な生活に貢献できているということを実感できます。そんな職場で皆さんと一緒に働けたら嬉しいです。 (2024年度採用 主事)



警察署会計課



警察署の会計課で、主に落とし物に関わる業務を行っています。落とし物は思っている以上に大量にあり、一日の業務がそれだけで終わることもありますが、落とし物が無事に持ち主の元へ戻り、安心した表情を見ることができた時や、警察職員の一員として地域に貢献できていると実感した時にやりがいを感じます。私は剣道をしてきたため警察官を志望していましたが、大学で大会運営を経験し、サポートする仕事にやりがいを感じ、警察組織の一員として地域に貢献したいと思い、事務職員を志望しました。警察事務には様々な業務があります。自分の長所やスキルを伸ばすことができ、大きく成長できる職種です。まだまだ学ぶことがありますが、身についた実力をしっかりと発揮していくことができる職場ですので、みなさんと共に働ける日を心待ちにしています。 (2023年度採用 主事)